

(様式1)
報道資料提供

提供日	令和 6 年 4 月 12 日 (金)
発表事項 (タイトル)	糖度15度超え、生で食べられる“幻のスーパースイートコーン”でSDGsに貢献！ ～耕作放棄地を活用し、農業の持続可能性と地域活性をめざす新たな取り組み～
広報ポイント	大阪府阪南市・阪南市商工会・関西テレビ放送は共同で地域課題を解決するべく、農業において深刻な問題となっている耕作放棄地を活用し、関西地区ではほぼ流通していない、貴重なブランドとうもろこし栽培の実証実験を開始します。 下記日程にて当該農地において関西テレビ常務取締役 伊東亮様、阪南市商工会会長 奥野英俊様、阪南市長 水野謙二出席のもと、「農地開きセレモニー」を執り行いますのでお知らせします。
要旨・経緯	【農地開きセレモニーについて】 日時：4月18日（木） 午後2時より 場所：大阪府阪南市石田760-1 の農地（特別養護老人ホーム 玉田山荘の隣） 出席：関西テレビ常務取締役 伊東亮様 阪南市商工会会長 奥野英俊様 阪南市長 水野謙二 石田保育所すみれ組の園児 （出席者は変更になる場合があります） 農地の持続的な活用、農業従事者の支援、地域活性化といった課題を解決する一つの方策として、糖度15度超えでもぎたてのとうもろこしの皮をむいて、その場で「生かじり」できる「甘々娘」（読み：かんかんむすめ）を耕作放棄地で栽培します。 今シーズンは実証実験と位置づけ、持続可能な取り組みとなる事を検証しながら栽培します。栽培に関しては、地元農家の方にご協力いただき、その場で「生かじり」できる特徴を活かすため、現地での収穫体験を広く一般の方々に販売、かかる費用を回収するスキームとし、関係者・生産者・消費者それぞれがメリットを享受する循環型の経済活動をめざすとともに、ふるさと納税の返礼品として商品の提供につなげていきたいと考えています。
添付資料	ご取材のお願い (耕作放棄地を活用し、農業の持続可能性と地域活性を目指す新たな取り組み)
担当課	阪南市 未来創生部 シティプロモーション推進課 担 当 前田・重成 電 話 072-489-4510 FAX 072-473-3504